

# 新型コロナウイルス感染症 後遺症実態把握調査

---

調査期間：令和4年9月22日～令和5年5月31日



# 調査の概要

---

## 1 目的

新型コロナウイルス感染症の後遺症（コロナ後遺症）の実態を把握し、必要な対策や、より効果的な県民への啓発につなげる。

## 2 対象

後遺症の症状が4週間以上継続している方又は継続していた方

## 3 調査方法

県ホームページ上のアンケート調査

## 4 調査期間

令和4年9月22日～令和5年5月31日

# 県民向けアンケート調査

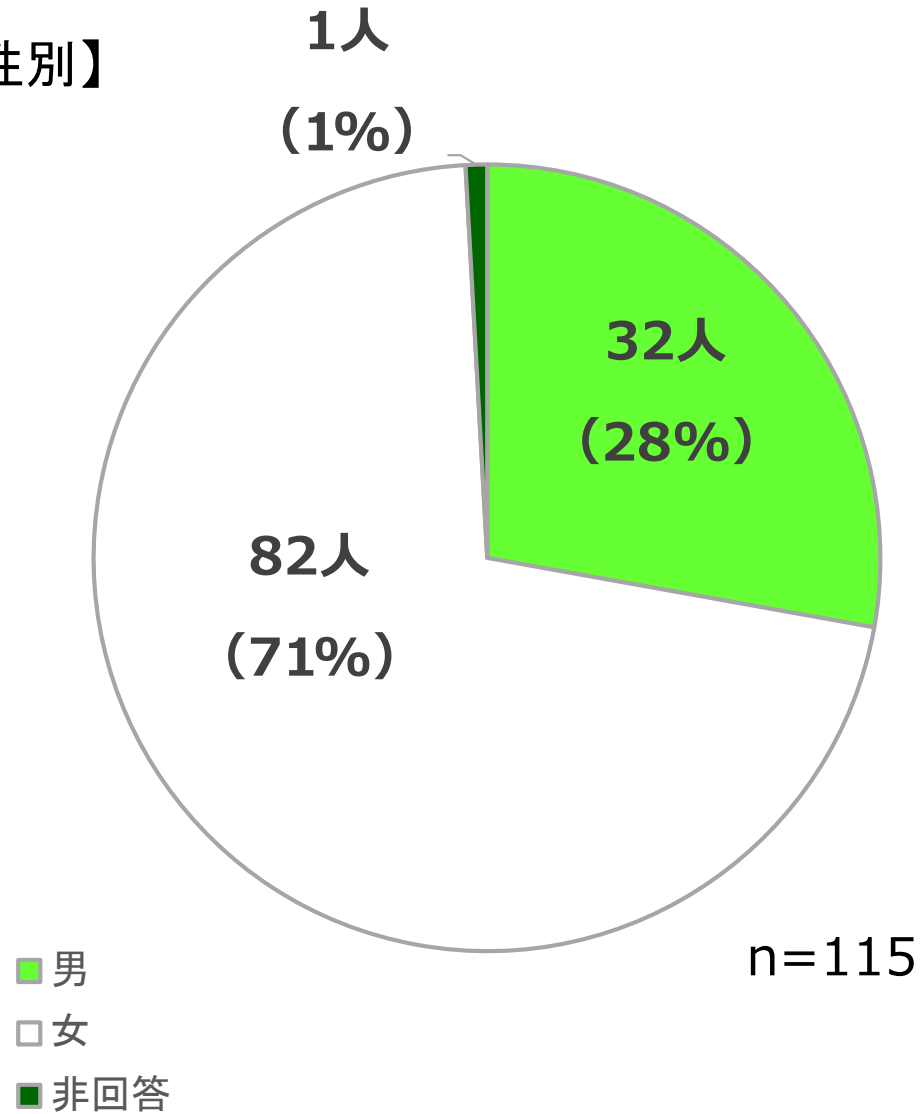
令和5年5月31日現在、回答者数は115人。

WHOは、「post COVID-19 condition」（コロナ後遺症）について、少なくとも2カ月以上持続し、また、他の疾患による症状として説明がつかないもの。通常はCOVID-19の発症から3カ月経った時点にもみられる。（～以下略～）と定義しているが、国内における定義は現時点では定まっていない。（新型コロナウイルス感染症COVID-19診療の手引き 別冊 罹患後症状のマネジメントより）

県では、かかりつけ医等のないコロナ後遺症が疑われる患者が、セルフチェックシートを用いてコロナ後遺症診療協力病院を受診する際を目安を、「症状が4週間以上継続している場合」としていることから、今回の県民向けアンケート調査の対象を1カ月以上症状が継続している方としている。

# 県民アンケート結果（性別、年代）

【性別】



【年代】

10歳未満	4人	(3%)
10歳代	3人	(3%)
20歳代	5人	(4%)
30歳代	24人	(21%)
40歳代	32人	(28%)
50歳代	29人	(25%)
60歳代	10人	(9%)
70歳代	7人	(6%)
80歳以上	1人	(1%)

※割合は四捨五入の関係で100%にならないことがある

# 県民アンケート結果（市町村別回答者）

## 【市町村別回答者】

宮崎市	56人
都城市	21人
延岡市	14人
日南市	1人
小林市	3人
日向市	6人
串間市	0人
西都市	1人
えびの市	0人
三股町	2人
高原町	1人
国富町	1人
綾町	0人

高鍋町	2人
新富町	1人
西米良村	0人
木城町	0人
川南町	4人
都農町	0人
門川町	0人
諸塚村	0人
椎葉村	0人
美郷町	0人
高千穂町	1人
日之影町	0人
五ヶ瀬町	0人

# 県民アンケート結果 ( ワクチン接種状況、コロナ判明時期、コロナ療養期間、 今も後遺症に悩んでいるか、後遺症継続期間 )

## 【ワクチン接種状況】

未接種	1回	2回	3回	4回
16人	2人	18人	58人	21人

## 【今も後遺症に悩んでいるか】 ※回答日時点

今も悩んでいる	今は治っている
82人	33人

## 【コロナ陽性と分かった時期】

令和4年1月より前	令和4年1月以降
9人	104人

## 【後遺症が継続している（していた）期間】

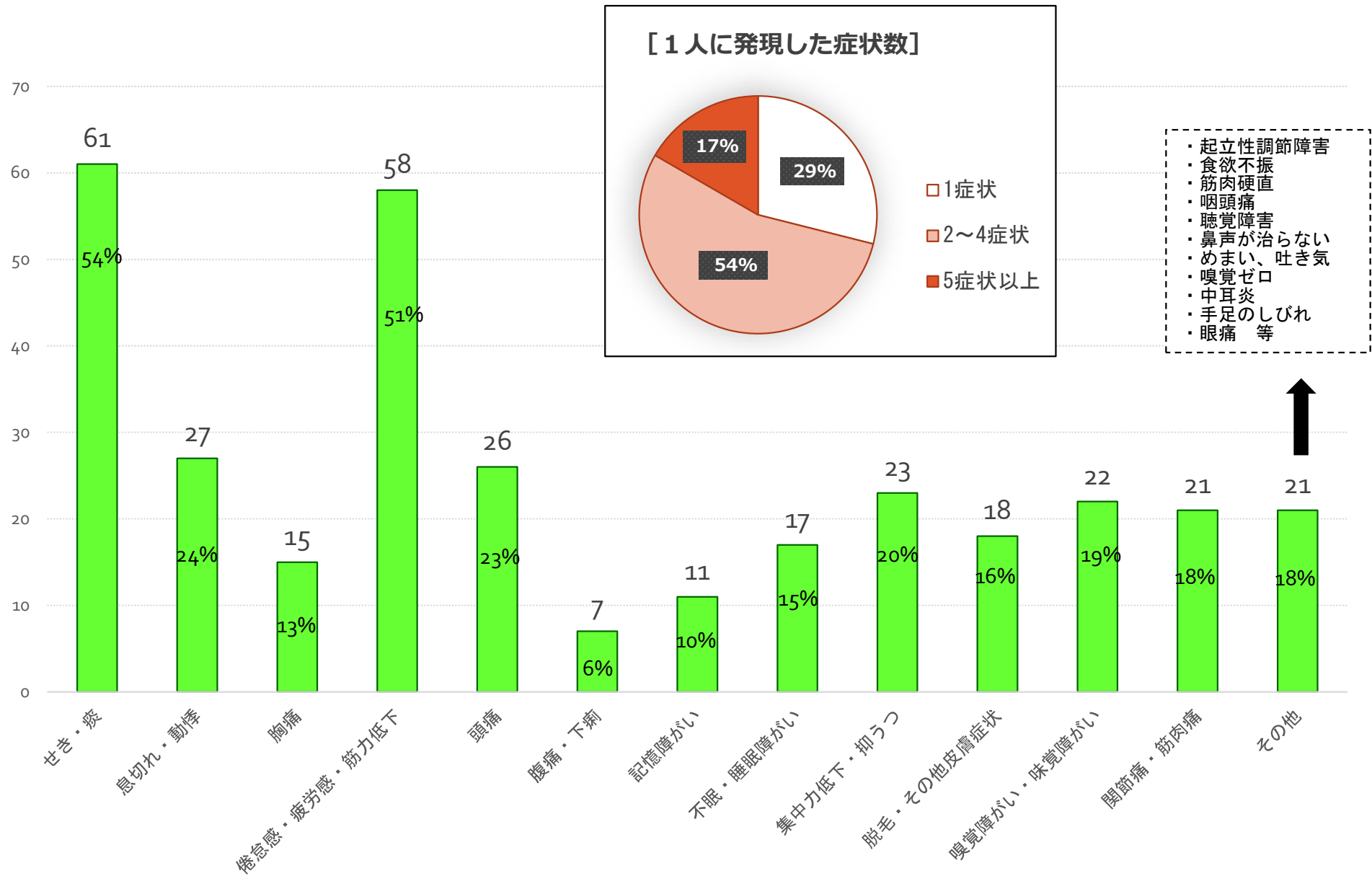
1～2か月	3～5か月	半年～1年	1年以上
66人	31人	12人	4人

## 【コロナの療養期間】

1週間以内	1～2週間	2週間以上
22人	75人	16人

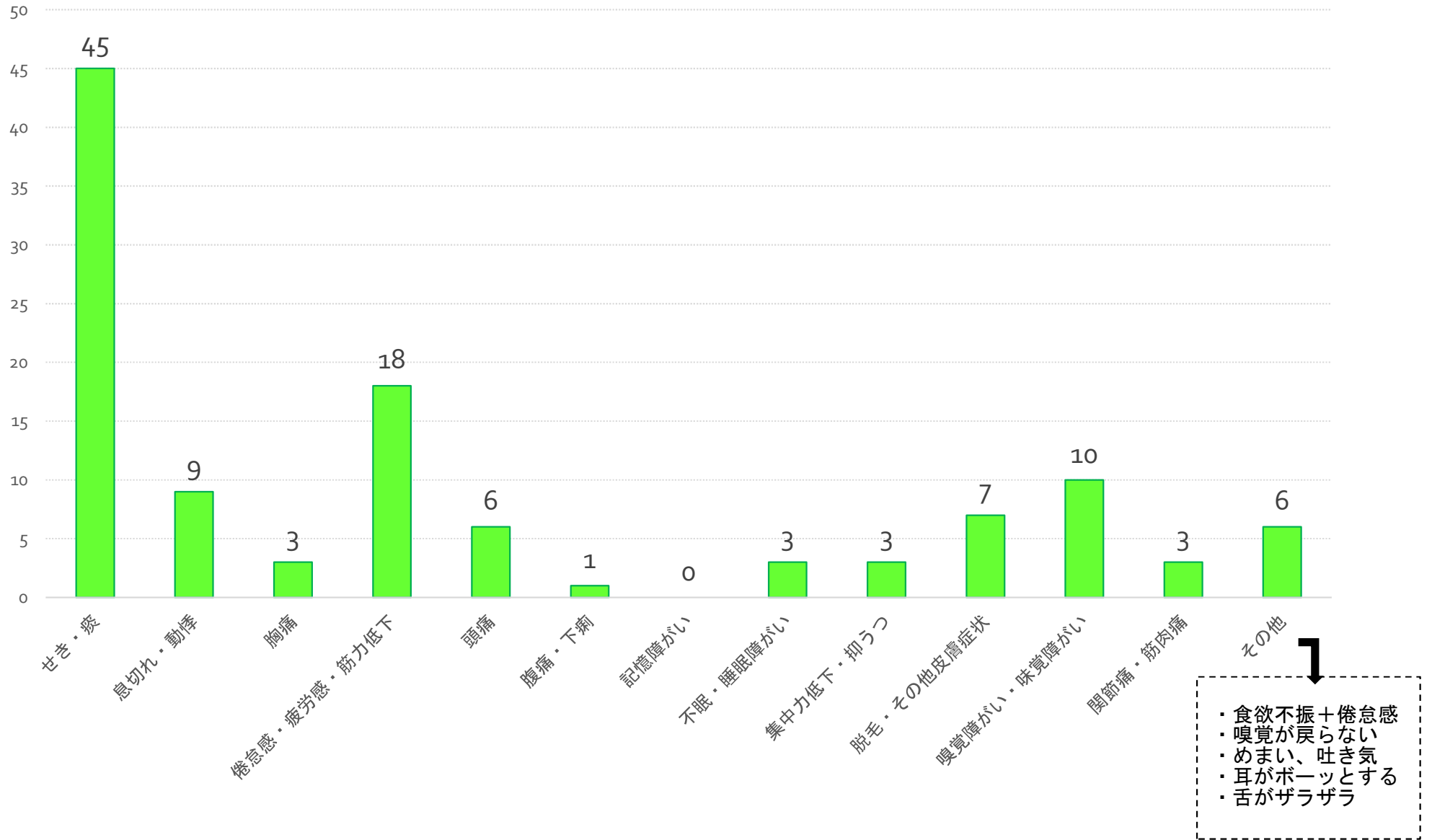
※設問に回答していない方がいるため、  
回答数の合計が一致していない。

# 県民アンケート結果（発現した症状（複数回答可））



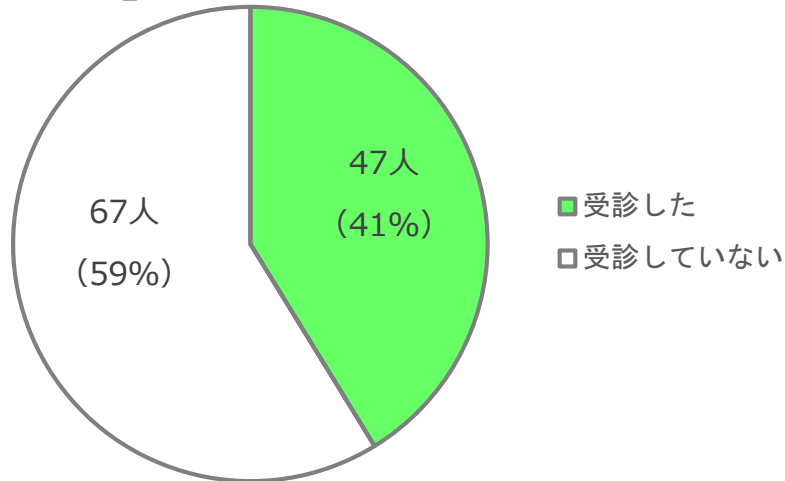


# 県民アンケート結果（最もつらいと感じた症状）

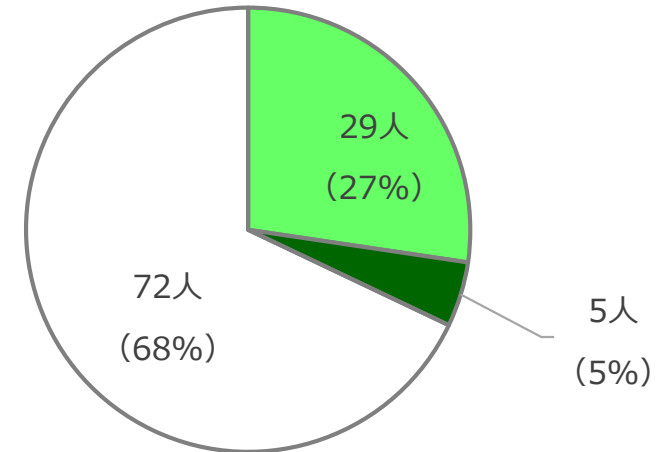


# 県民アンケート結果 ( 治療相談のために医療機関を受診したか、社会生活への影響、現在学校や職場に行くことができるか )

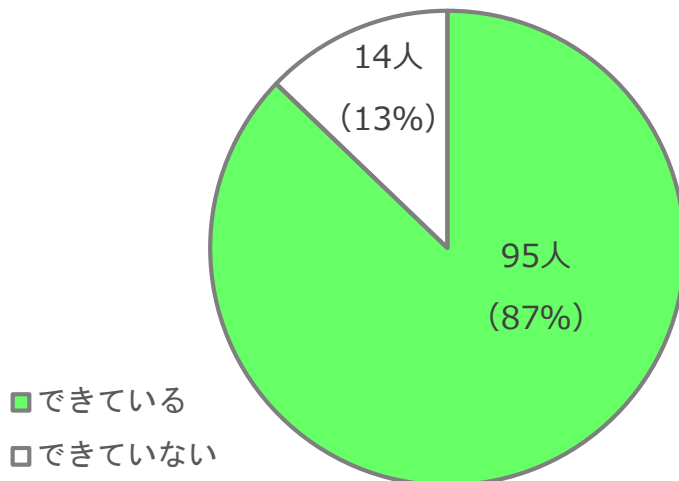
【後遺症の治療相談のために医療機関を受診したか】



【後遺症発症による社会生活への影響】



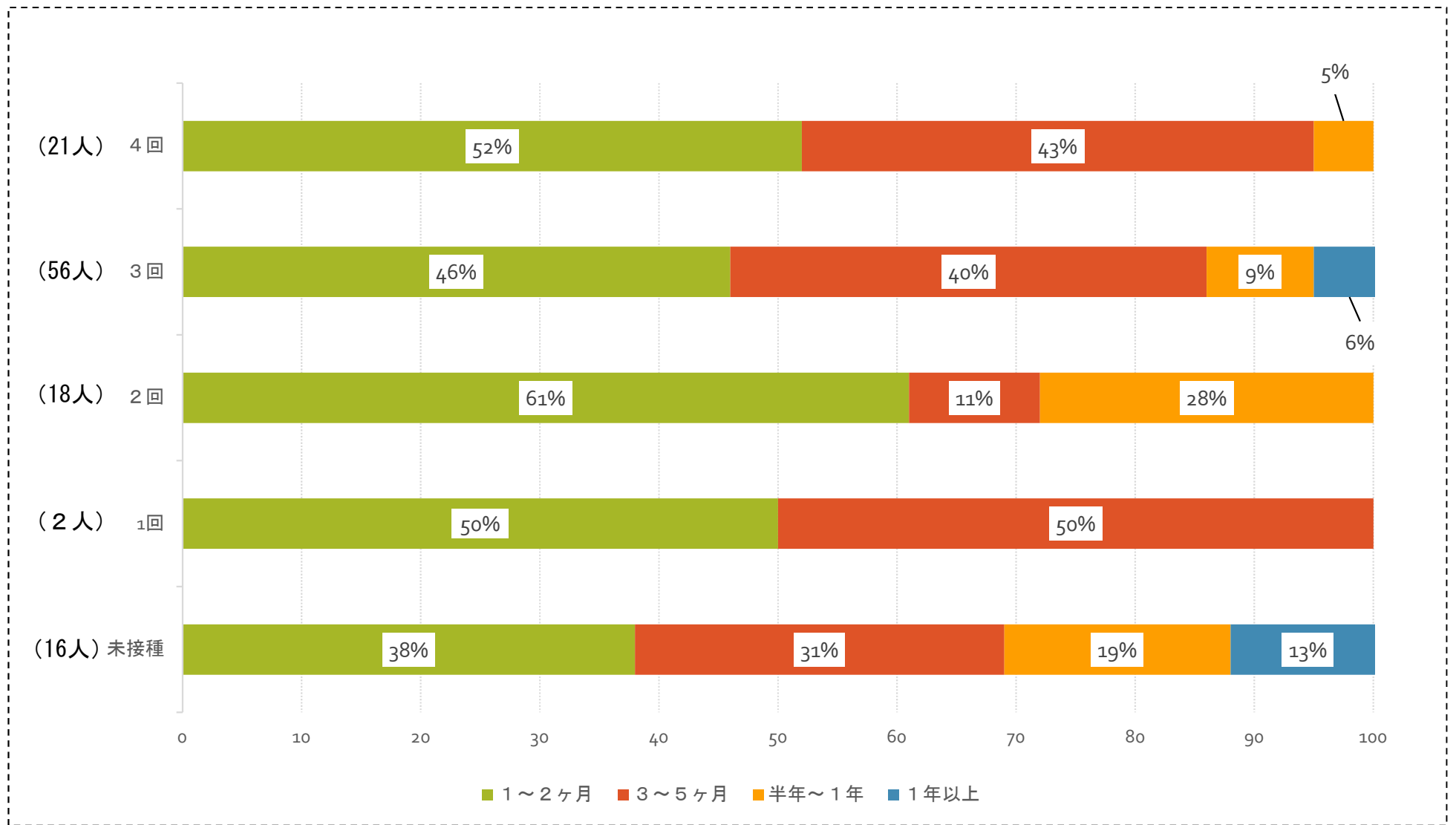
【現在学校や職場に行くことができるか】  
※調査日時点



- 後遺症を理由に学校や仕事を休んだ
- 後遺症を理由に学校や仕事を休みたかったが、理解が得られず休めなかった
- 後遺症を理由に学校や仕事を休んだことはない (仕事をしていない、学生ではない場合も含む)

※設問に回答していない方がいるため、回答数の合計が一致していない。

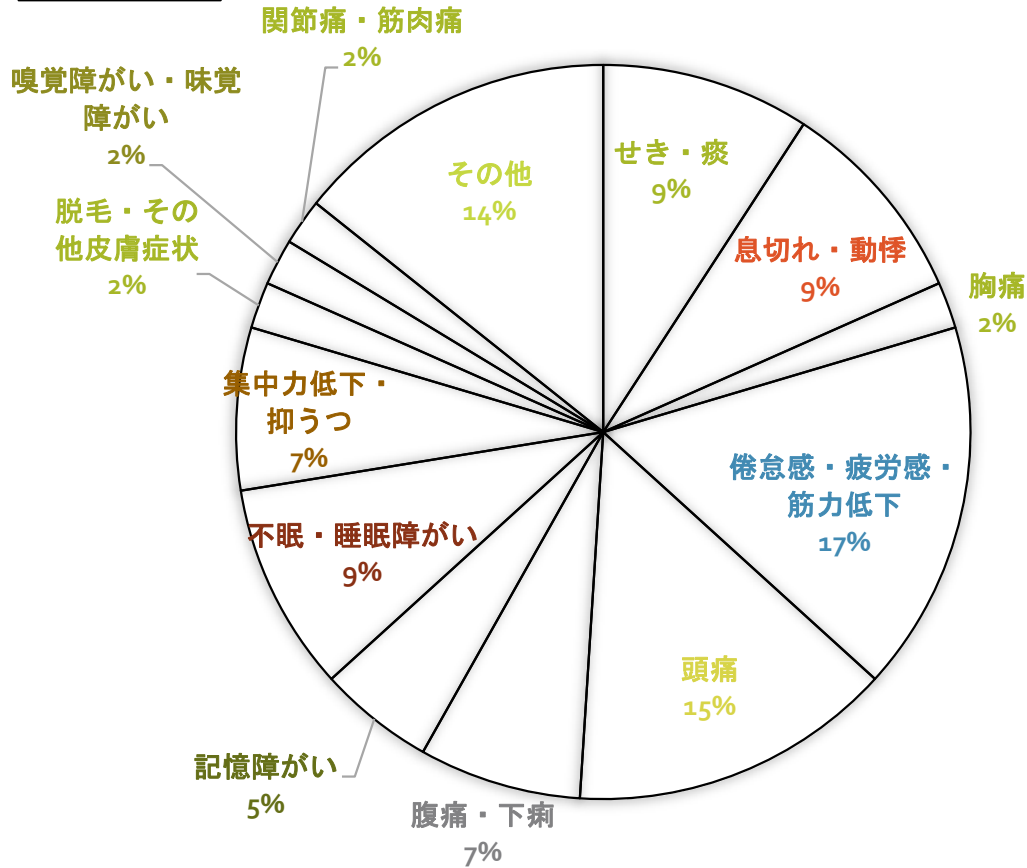
# 県民アンケート結果（ワクチン接種回数と後遺症の継続期間）



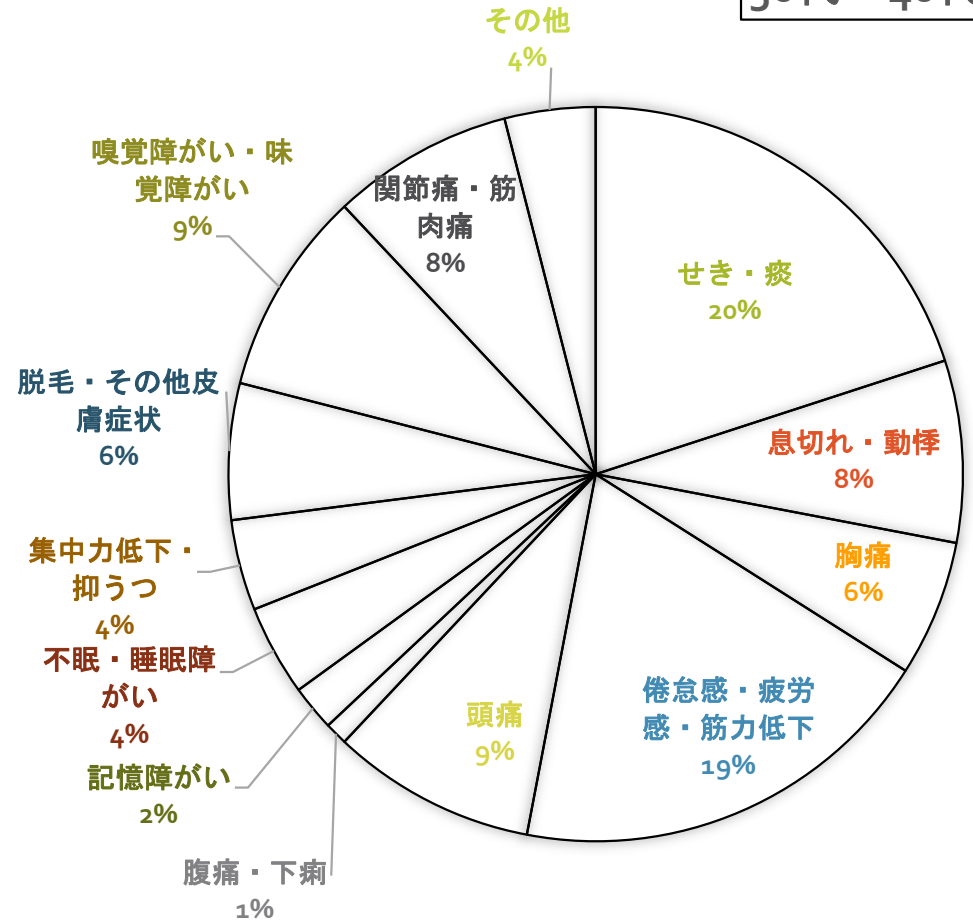
※ 四捨五入の関係で割合が100%にならないことがある。

# 県民アンケート結果（年代別症状の割合 20代以下、30代～40代）

20代以下



30代～40代

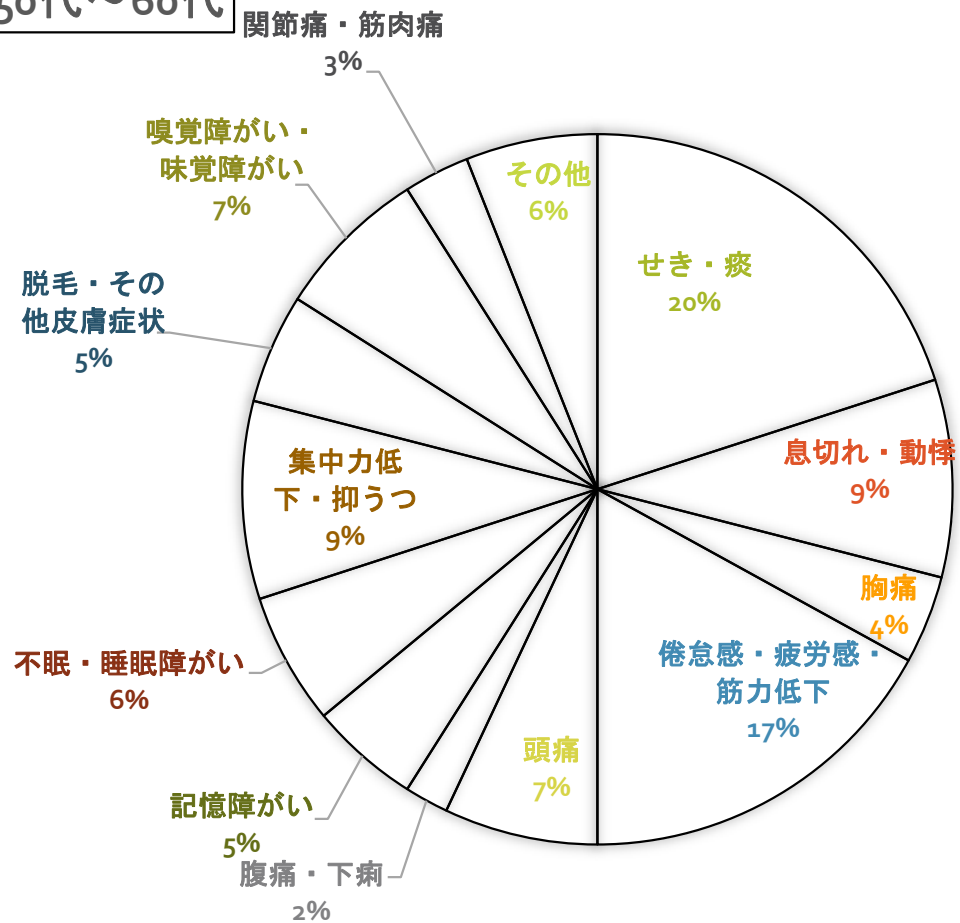


※各年代別に多く発現しているのはどの症状か

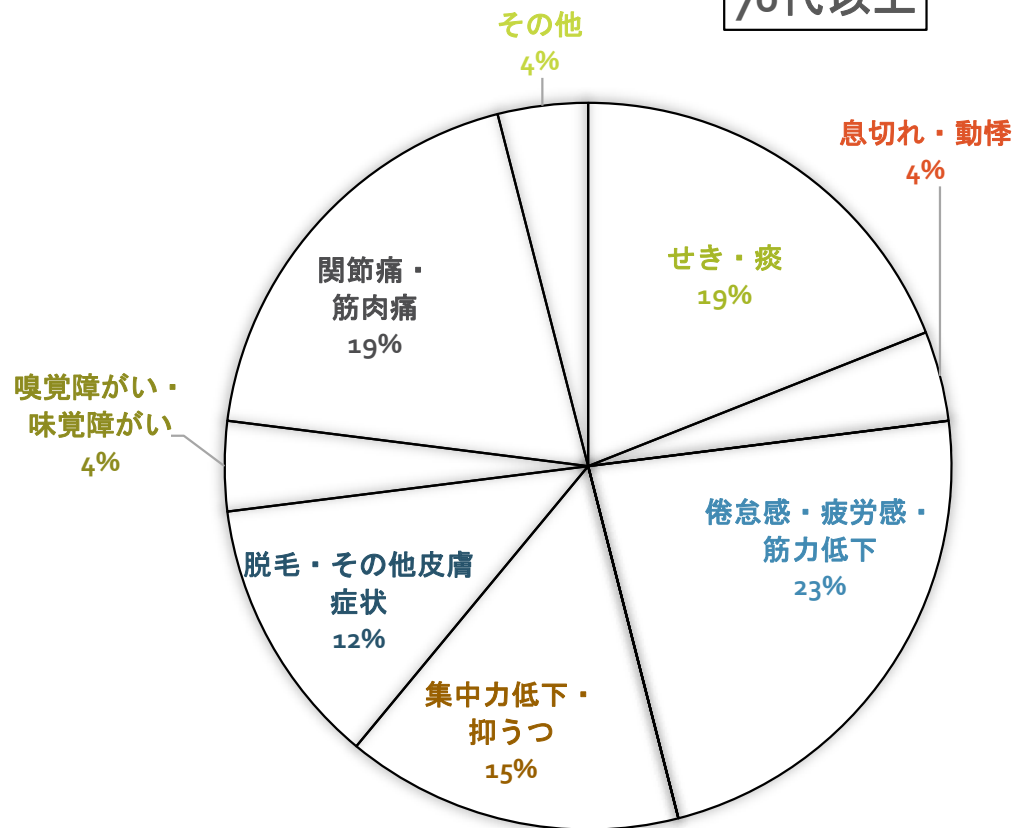
# 県民アンケート結果（年代別症状の割合）

50代～60代、70代以上

50代～60代



70代以上



## その他

- ・ 後遺症が継続していた期間は、前回「1～2か月」と回答した方の割合が70%であったが、今回調査では58%となっており、3か月以上継続している方の割合が大きくなっている。
- ・ 発現した症状の上位は以下のとおりであり、前回調査時と順位に変化は無いが、「倦怠感・疲労感・筋力低下」が発現した方の割合が大きくなってきている。

前回	今回
せき・痰（58%）	せき・痰（54%）
倦怠感・疲労感・筋力低下（45%）	倦怠感・疲労感・筋力低下（51%）
息切れ・動悸、頭痛（22%）	息切れ・動悸（24%）

- ・ せき・痰、倦怠感などの一般的な後遺症状の他、「手足のしびれ」や「目痛」などが発現した方もいる。
- ・ 前回調査同様、ワクチン接種回数が多いほど後遺症の継続期間は短い傾向にあると言え、引き続きワクチン接種を推進する必要がある。

